

あけぼの診療所だより

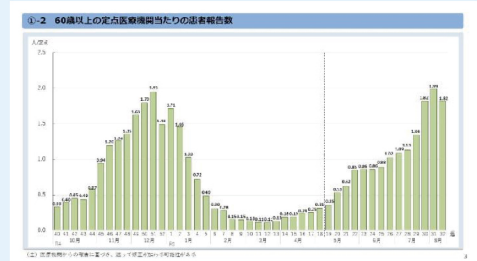
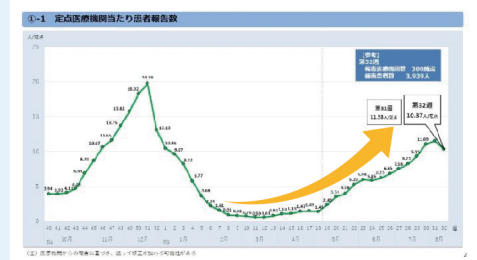


ごあいさつ

コロナウイルス感染症の患者さんが増えています。 まさに第9波の到来です。

2類ではなくなり、自宅待機が義務ではなくなったことは広く知られているかと思います。そのため検査を受ける人も減り、マスクをつける人も、暑さの影響もあり減っています。テレビなどでコロナウイルス感染症の情報にふれる機会も減りました。第9波の最中ですが、全数把握を止めたため、実態は不明です。

右記のグラフは定点医療機関の患者報告数です。左の山は以前の第8波、右が第9波です。山は小さいものの、5類になったことで、検査を受けに来ていないことも予想されます。私の推測ですが、春の第8波のピーク時の東京都の1日あたりの新規感染者数は17,000人程度でしたが、8月の中旬現在は、このレベルに達しているのではないかと、日々の診察の中で感じます



在宅でもコロナウイルス感染を みかけるようになりました。

以前と違って家庭内・施設内でクラスター化している事例を散見します。5類になり社会の雰囲気も緩和し、会食が増えたりマスクを外す機会が増えたりしたことで、グループ内で感染者が発生すると、一気にクラスターになります。

酸素を必要とする中等度以上と診断され、入院加療となる方は、幸い当院には今のところありません。デルタ株と異なり、オミクロン株やその亜種の流行に関しては、重症化へのスピードが速くて対応に困るということはなさそうです。

往診でご家族も一緒に診察し、高齢者の方にラゲブリオやパキロビットパックを処方し、状態をフォローすることも増えています。



裏面に続きます！



この時期のコロナウイルス感染症で困るのが

熱中症または脱水と 低ナトリウム血症を合併することです。

コロナと熱中症には
気をつけて！



いずれも倦怠感、食欲低下、嘔気嘔吐から、進行すれば意識障害にいたりします。こうなってしまうと身動きもとれないまま、どこにも連絡できず、飲まず食わずで数日間過ごされることも珍しくありません。ご自宅でじっとしながら衰弱されていくのは、本当にしのびないことです。私たちは様々な事業所さまと協力しながら、ご自宅でのこうした状態からの離脱を試みております。

入院も選択肢として重要ですが、入院中の床上安静によりADLが低下してしまう懸念もあり、悩みながら診療しております。とにかく迅速に、各事業所、各医療機関との連携を軸に、土日夜間問わず、在宅で頑張っている方々をお支えることを、今後も続けてまいります！



あけぼの診療所にいる 医師は40名！



医師のご紹介

患者さま一人ひとりに寄り添い、住み慣れた場所で安心して暮らすお手伝いをしたいと思います。

患者さん目線で、しっかりお話を聞いてくださる先生です

伊澤 真理子先生 脳神経外科

出身校：東邦大学(2007年卒)

資格等：日本脳神経外科学会認定専門医、日本認知症学会認定専門医指導医、日本プライマリケア学会認定医

略歴 2010年 富山大学附属病院 脳神経外科
2013年より訪問診療に従事



定期的に医師がお伺いする総合在宅医療サービス

あけぼの診療所 院長 / 下山 祐人

患者様がご自宅で“自分らしく”療養できる環境を実現できるよう、医療のみならず生活面の課題やご家族の不安にも向き合い、総合的なサポートを行います。

お問い合わせ 受付(月~土 9:00~18:00)

TEL. 03-6457-7237

FAX. 03-6457-7238

〒160-0001 東京都新宿区片町1-1
住友不動産市ヶ谷曙橋ビル3階

あけぼの診療所 新宿

検索

www.akebonoclinic.net



訪問エリア

東京23区はもとより、23区外東地域の一部、埼玉県南地域の一部にも対応しています。

対応する診療内容

- ①輸血(赤血球・血小板) ②中心静脈栄養
- ③在宅酸素療法 ④人工呼吸器
- ⑤モルヒネ持続皮下・静脈注射など

事業拡大につき / スタッフ募集中!

お気軽にご相談ください

